パンジー用

給湯ユニット

PN－３３０

SAKAImed

取 扱 説 明 書

●このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

●「取扱説明書」は
・１部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
・１部を保存用として、大切に保管してください。

01-184①KX

用　途

本製品は、当社の浴槽『パンジー』(PN-100、PNS-200、PNS-210、PNS-300、310、320)専用の給湯ユニットです。パンジーの近傍に設置し、追加給湯を短時間で行うことができます。

特　長

●約 90 リットルのタンクを内蔵

事前に約 90 リットルの湯をタンクに貯めることができるので、パンジーで入浴する際の追加給湯を短時間で行うことができます。

●簡易自動貯湯システムを搭載

パンジーに送湯すると、タンクが常に満水になるように自動的に貯湯しはじめるので、入浴介助に集中することができます。

●湯量レベルゲージを装備

タンク内の湯量は、レベルゲージで確認することができます。

●デジタル温度計を装備

タンク内の湯温は、デジタル温度計で 0.1℃刻みに表示します。

●据え置きタイプで簡単設置

浴室に設置する際、アンカー止め等の設備工事が必要ないため、据え置くだけで簡単に設置できます。
（必要に応じて、壁面へのアンカー止めも可能です）

ご使用になる前に

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、各注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

表示について

危険や損害の程度を以下に区分し、表示しています。

⚠危険	取り扱いを誤ると、 **「死亡または重傷を負うことに至る」** ことを示しています。
⚠警告	取り扱いを誤ると、 **「死亡または重傷を負う可能性が想定される」** ことを示しています。
⚠注意	取り扱いを誤ると、 **「傷害または物的損害の発生が想定される」** ことを示しています。

絵表示の意味

⃠禁止	行為を禁止することを示した表示です。
❗強制	必ず実行していただくことを示した表示です。

タンクへの貯湯

⚠警告

貯湯する前に、送湯開閉レバーを「閉」側にすること

送湯開閉レバーが「開」側の状態で貯湯すると、送湯ホースから湯が出て危険です。

貯湯する際は、タンクのデジタル温度計で湯温を確認すること

高温の湯が貯湯されていると、浴槽への送湯の際やけどをする恐れがあります。

浴槽への送湯

⚠警告

送湯する前に、デジタル温度計で湯温を確認

やけどをする恐れがあります。

送湯する前に、送湯ホースから湯を出して温度を手で確認

やけどをする恐れがあります。

送湯中は、入浴者に直接湯がかからないようにすること

湯が高温の場合、やけどをする恐れがあります。

送湯したままの状態で、入浴者から離れないこと

送湯中に入浴者の姿勢が崩れた場合や、適正な水位以上に送湯してしまうと入浴者が水没する恐れがあります。

⚠注意

送湯開閉レバーはゆっくり回す

急に回すと、送湯ホースから勢いよく湯が出て危険です。

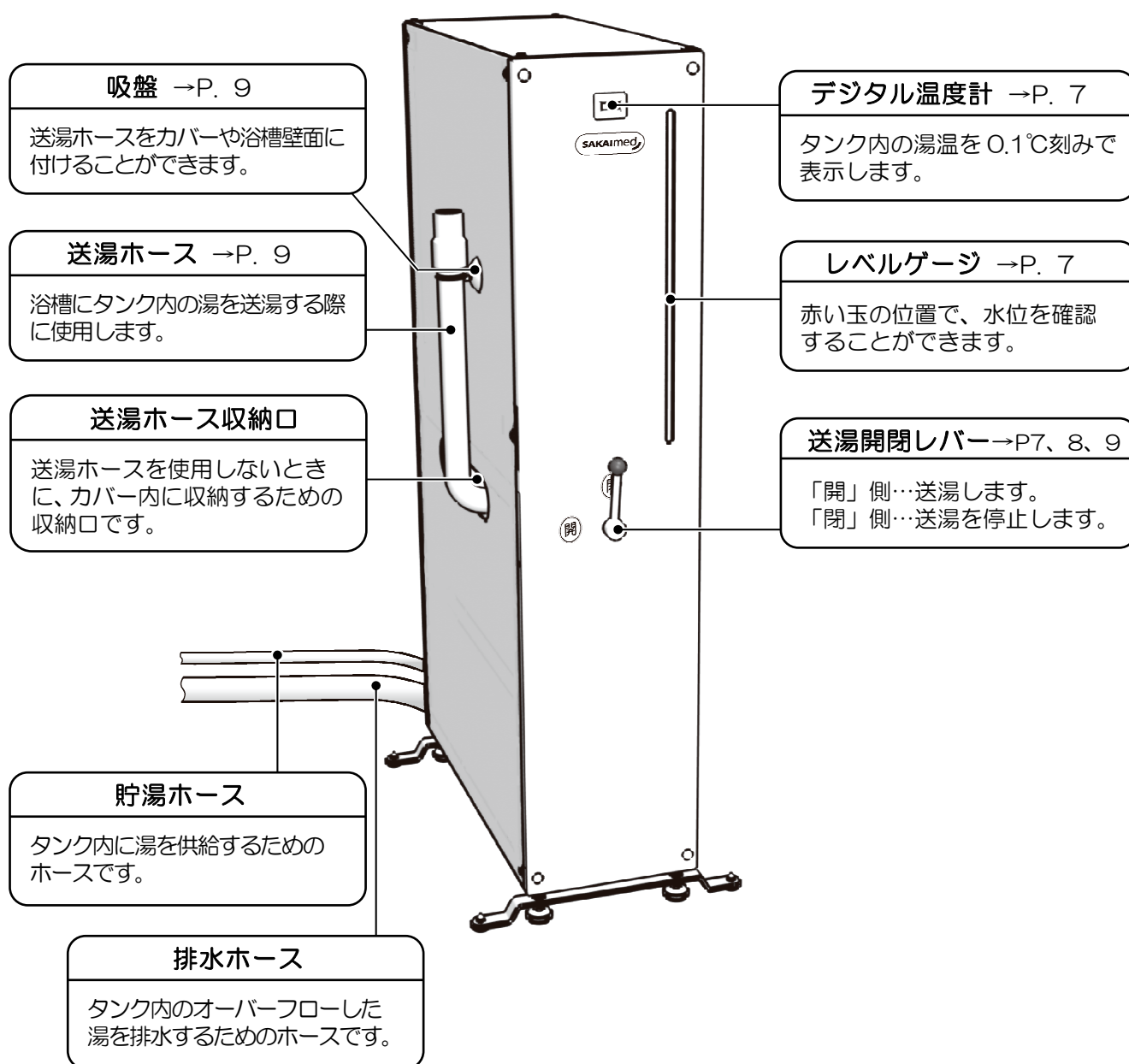
その他

⚠警告

本体に寄りかからないこと

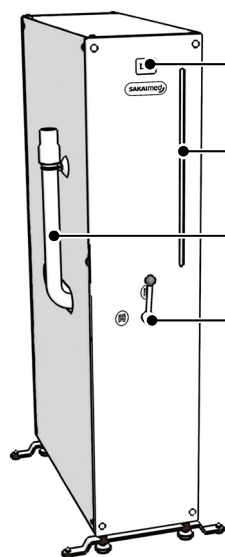
本体が転倒し、破損や事故の原因になります。

ご使用になる前に

各部の名称

ご使用になる前に

点検の際は、本ページをコピーしてご使用ください。

始業点検について

ご使用前に下記の始業点検項目にもとづき、始業点検を実施してください。

始業点検チェックリスト：

給湯ユニット（PN-330）

点検日　　　年　　月　　日

項目	点検内容	点検方法	チェック	備考
①	タンク内湯温の表示	湯温を表示しているか確認	□ OK・□ NG	
②	レベルゲージの作動	貯湯すると赤い玉が上がることを確認	□ OK・□ NG	
③	送湯ホースの湯漏れ	送湯ホースから湯の漏れがないか確認	□ OK・□ NG	
④	送湯開閉レバーのガタつき、外れ	送湯開閉レバーを「開」側、「閉」側に回し、ガタつき、外れがないか確認	□ OK・□ NG	
⑤	カバーのガタつき、外れ	目視	□ OK・□ NG	

またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに最寄りの営業所にご連絡ください。尚、故障中は故障した機器を誤って使用しないように、周囲の方が分かるように表示（故障中の貼り紙等）をお貼りください。

ご使用になる前に

組み合わせ

使用できる浴槽の種類

給湯ユニットはパーソナルケア浴槽「パンジー」専用の給湯装置で、下記の浴槽で使用できます。

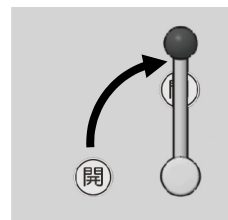
パンジー	・・・PN-100
パンジーⅡ	・・・PNS-200、210
パンジーi	・・・PNS-300、310、320

操作方法

貯湯操作

タンクに湯を貯める

1. 送湯開閉レバーを「閉」側へ最後まで回します。

> ⚠警告　貯湯する前に、送湯開閉レバーを「閉」側にすること

2. 給湯ユニットに接続されている浴室内の混合栓、またはサーモ付ミキシングで温度を調節し、バルブを開きます。

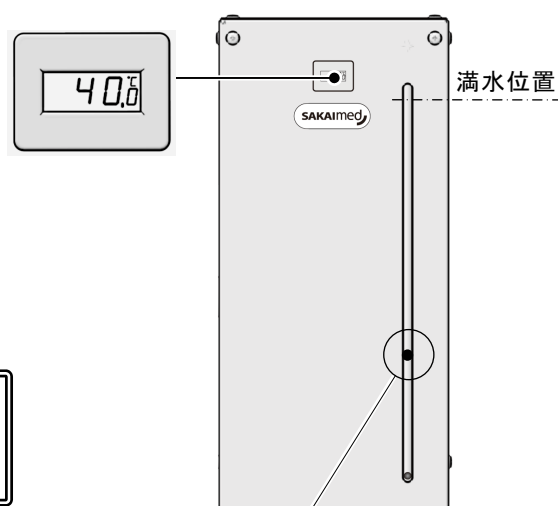
給湯ユニットをシャワー水栓側に接続している場合は、切替ハンドルをシャワー水栓側に切り替えます。

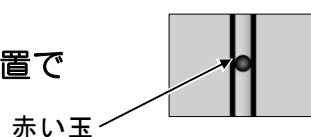
※水栓の操作方法につきましては、設備側の水栓の取扱説明書をご覧ください。

タンク内の湯温は、デジタル温度計で確認します。

満水位置

注意　初回の貯湯の際は、タンク内が冷えているため、湯温が安定するまで約 2、3 分かかります。

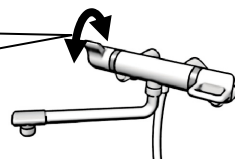
> ⚠警告　貯湯する際は、タンクのデジタル温度計で湯温を確認すること

湯量は、レベルゲージの赤い玉の位置で確認します。

赤い玉

操作方法／貯湯操作

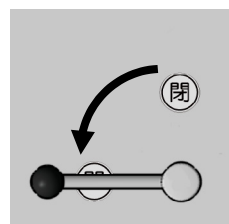
タンク内が満水になると、貯湯が自動的に停止します。

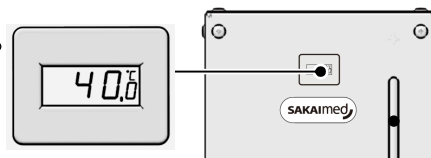
参考　タンク内の湯を使用し、湯量が減った場合は、自動的に満水まで貯湯されます。

満水後にタンク内の湯温を調整する方法

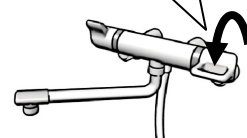
1. 給湯ユニットに接続されている浴室内の混合栓、またはサーモ付ミキシングで温度を調節します。

2. 送湯開閉レバーを「開」側に回して送湯ホースから湯を少し排水します。

注意　排水の際は、入浴者に湯がかからないように注意してください。

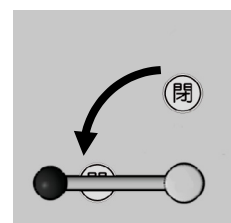
タンク内の湯量が満水以下になると自動的にタンク内に貯湯されます。

3. デジタル温度計でタンク内の湯温を確認します。

必要に応じて 1～３の操作を繰り返して、タンク内の湯温を調節します。

最後の入浴者の方の貯湯操作

タンク内が満水になったら､給湯ユニットに接続されている混合栓のバルブを閉じます。

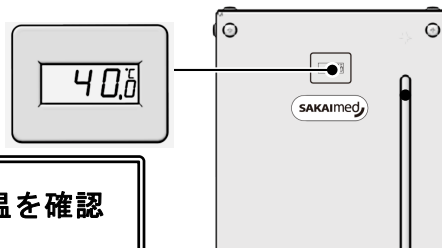
混合栓のバルブを閉じないとタンク内に満水まで湯が自動的に貯湯されてしまいます。

タンク内の湯を排水する

送湯ホースを持ち、送湯開閉レバーを「開」側に最後まで回します。

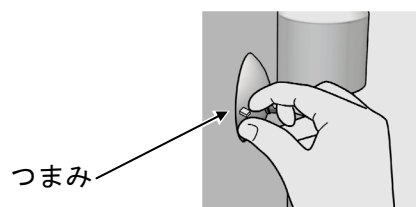
排水後、レバーを「閉」側へ戻してください。

操作方法

浴槽に送湯する

浴槽側で、送湯の準備が整っていることを確認しておきます。

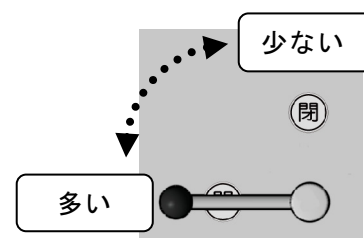
1. デジタル温度計でタンク内の湯温を確認します。

⚠**警告**　送湯する前に、デジタル温度計で湯温を確認

2. 送湯ホース収納口から送湯ホースを取り出します。

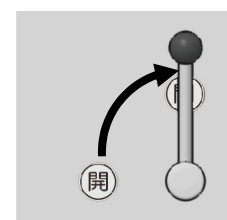
参考　送湯ホースは、吸盤を使用しカバーに付けておくことができます。吸盤を外すときは、吸盤上のつまみを指で引っ張ります。

3. 送湯開閉レバーを「開」側に少し回し、ホースから出てくる湯の温度を手で確認します。

⚠**警告**　送湯する前に、送湯ホースから湯を出して温度を手で確認

4. 送湯ホースを、吸盤で浴槽壁面に付けます。
送湯開閉レバーを「開」側に回し、浴槽内に送湯します。

送湯量は「開」側に回すほど、多い流量で送湯します。

⚠**警告**　・送湯中は、入浴者に直接湯がかからないようにすること
・送湯したままの状態で、入浴者から離れないこと

⚠**注意**　送湯開閉レバーはゆっくり回す

5. 送湯終了後、送湯開閉レバーを「閉」側に回します。

このようなときは

まずは次の内容を確認していただき、なお異常があるときは最寄りの営業所までご連絡ください。

	このようなときは	ここを確認してください
貯湯	タンクに湯が供給されない	**●接続されている混合栓、またはサーモ付きミキシングのバルブが閉じていませんか？** →混合栓、サーモ付きミキシングのバルブを開いてください。
		●給湯水配管の元バルブが閉じていませんか？ →給湯水配管の元バルブを開いてください。
		●タンク内の湯量が満水になっていませんか？ →満水になると、タンクへの貯湯が自動停止します。
	タンクに湯が貯まらない	**●送湯開閉レバーが「開」側になっていませんか？** →送湯開閉レバーを「閉」側へ回してください。
	タンク内の湯温が安定しない	**●貯湯し始めではありませんか？** →初回の貯湯は、タンク内が冷えているため湯温が安定するまで約 2、3 分かかります。
送湯	送湯される湯量が少ない	**●送湯ホースがつぶれていませんか？** →送湯ホースがつぶれていないか確認してください。

・その他、ご不明な点につきましては最寄りの営業所にご相談ください。

・ご使用中万一故障が発生したら、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

日常のお手入れ

清掃

一日の入浴作業終了後、下記の方法にて必ず清掃を行なってください。

部品名	清掃方法
カバー	ステンレス部は水滴をそのままにしておくと水垢が残り汚くなります。 乾いた布で水滴を拭いてください。 ※故意に水をかけないでください。
デジタル温度計	乾いた布で軽く拭く程度にしてください。 ※故意に水をかけないでください。
タンク内、送湯ホース	①タンク内、送湯ホース内の湯を完全に排水してください。 ②送湯ホースは、送湯ホース収納口から本体内部へ収納してください。

機器について

保守・点検

・本製品を使用する際は、機器の管理者の方が P.5の点検項目に基づき、必ず始業点検（日常点検）を実施してください。
・長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
・点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの営業所までご連絡ください。
・清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

● 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めいたします。詳しくは別添の「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、最寄りの営業所へお問い合わせください。

機器について

保証とアフターサービス

保証書と保証期間

- 保証書(別添)は再発行致しませんので紛失されないよう大切に保管してください。
  保証書がないと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
- 保証期間は 1 年です。但し本体フレームは 5 年間です。保証の規定につきましては
  保証書をご覧ください。

修理をご依頼いただく場合

- 修理をご依頼いただく場合は、下記のことをお知らせください。
  機種名　：　*PN-330*
  お買い上げ：　　年　月　日
  故障状況(できるだけ詳細に)
  住所、氏名、電話番号
- メーカーより指示のあるとき以外は、機器を分解しないでください。

耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

損耗品（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

- 正常な使用において、交換の目安が約２年のもの。

送湯ホース
吸盤

- 正常な使用において、交換の目安が約３年のもの。

貯湯ホース
排水ホース

損耗品の交換時期が来ましたら営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

保守用性能部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

機器について

仕様

名　　称		給湯ユニット
型　　式		PN-330
外形寸法		1410(Ｌ)×470(W)×715(Ｈ)mm
質　　量		約 70 kg
貯湯タンク容量		約 90ℓ
材質	本体フレーム 貯湯タンク	ステンレス
	本体カバー	ステンレス・粉体塗装
	送湯ホース	プラスチック（ポリ塩化ビニル）
そ の 他		デジタル温度計、自動貯湯機能

注．都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。